

第44回日本口蓋裂学会総会・学術集会中止のご報告

一般社団法人日本口蓋裂学会
会員 各位

第44回日本口蓋裂学会総会・学術集会の開催について、様々なご意見賜り、ありがとうございました。

今日の新型コロナウイルス感染症の拡大のため学術集会について多くの会員の皆様にご心配をおかけし申し訳ございません。3月6日の理事会にて対応を考え、1ヶ月の間我が国の状況の情報収集しておりましたが、感染症終息の目途がまだ見えてきません。会員の先生方の安全という観点から、大会担当の後藤滋巳大会長及び全理事の先生方と相談し、第44回学術大会は中止と判断させていただきました。

年に一度の大会を楽しみにしておられました先生方、講演や発表を準備しておられます先生方におかれましては多大なご迷惑をおかけすることになり誠に申し訳ございません。我が国の口唇裂・口蓋裂治療をリードする先生方のご健康と安全を守るためということで何卒ご容赦のほどお願いしたく存じます。第44回学術集会は誌面開催（第45巻2号）とすることといたしました。第45巻2号に掲載されますプログラムはすべて発表履歴として有効とさせていただきます。同内容での演題発表を次期以降の本学会や他学会で行うことは、二重発表となりますのでご留意ください。

また、会期中に開催予定でした第3回認定師申請単位取得セミナーは、インターネット開催を視野に入れて検討中です。

会員の皆様におかれましては何卒ご寛容のほどお願い申し上げます。

一般社団法人日本口蓋裂学会
理事長 古郷 幹彦